

公 表 日

平成29年 6月12日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成29年度降灰後土石流発生雨量基準設定手法検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官代理 九州地方整備局 九州技術事務所副所長 遠藤 孝司 福岡県久留米市高野1丁目3-1
契約年月日	平成29年 6月12日
契約業者名	(一財)砂防・地すべり技術センター
契約業者の住所	東京都千代田区九段南4-8-21
契約金額	23,004,000円(税込み)
予定価格	24,462,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	福岡県久留米市
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成29年 6月13日
履行期間(至)	平成30年 2月28日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成29年度降灰後土石流発生の雨量基準設定手法検討業務
2. 履行場所 九州技術事務所
3. 契約の相手方 住所：東京都千代田区九段南4-8-21山脇ビル
会社名：（一財）砂防・地すべり技術センター
電話：03-5276-3271
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、降灰後土石流について、土石流の発生要因を把握するとともに、過去の事例から新たな噴火が発生した場合の雨量基準を設定する手法について検討するものである。

- 2) 業務の内容

本業務は、①計画準備…1式、②降灰後土石流の被害事例に係る資料収集…1式、③降灰後土石流発生の要因検証（模型実験）…1式、④噴火様式と被害実績に応じた雨量基準設定の検討…1式、⑤噴火様式と被害実績に応じた雨量基準設定のための調査手法検討…1式、⑥計算式による雨量基準設定の検討…1式、⑦計算式による雨量基準設定のための調査手法検討…1式、⑧アドバイザー会議の開催…1式、⑨報告書作成…1式を行うものである。

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低18者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に、評価テーマの「降灰後土石流発生の雨量基準設定のために必要となる項目及びその調査手法検討の際の留意点」に対する技術提案について、「的確性」「実現性」について、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 火山防災減災課長